

栃木県内における病原体サーベイランスの状況

栃木県及び宇都宮市では感染症発生動向調査事業として、病原体サーベイランスを実施しています。
病原体サーベイランスの対象となる疾病は、1類から5類の全数把握疾病(一部の疾患を除く)および5類定点把握疾病(性感染症・薬剤耐性菌感染症を除く)です。5類定点把握疾患は、指定された県内20カ所の病原体定点医療機関(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)で診断された患者の検体を対象としています。

令和4(2022)年10月分

(1) 病原体検出状況一覧(保健環境センター提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	幼児	無菌性髄膜炎	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	ヒトライノウイルス 遺伝子群A
2	60歳代	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	A群溶血性 レンサ球菌T型別 9型
3	30歳代	腸管出血性大腸菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)、 遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O26 VT1(+)、VT2(-)
4	50歳代	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	B群溶血性 レンサ球菌
5	30歳代	腸管出血性大腸菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)、 遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O115 VT1(+)、VT2(-)

(2) 病原体検出状況一覧(宇都宮市衛生環境試験所提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	30歳代	腸管出血性 大腸菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)、 遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O103 VT1(+)/VT2(-)
2	20歳代	腸管出血性 大腸菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)、 遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O111 VT1(+)/VT2(-)
3	20歳代	腸管出血性 大腸菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)、 遺伝子検出(LAMP法)	EHEC O121 VT1(-)/VT2(+)